

看護連盟 いばらき

第 61 号

2024 年 10 月 15 日号

茨城県看護連盟
水戸市緑町 3-5-35
TEL 029(225)3992
発行者 会長 山本かほる
info@ibaraki-kangorenmei.jp

第2ラウンド 「石田まさひろ参議院議員」 施設訪問 in 茨城



国営ひたち海浜公園 コキア

目次

会長あいさつ	2
看護職議員活動報告	3
石田まさひろ 施設訪問 「石田まさひろ参議院議員」応援する会 意見交換会	4・5
日本看護連盟通常総会 都道府県看護連盟会長・副会長・幹事長・支部長合同会議 茨城県看護連盟通常総会、第1回青年部ブロックミーティング	6
2024年度 スローガン「届けよう看護の声を！私たちの未来へ」 特別講演「看護の歴史を紐解き未来に向けて」	7
退任役員、新任役員	8
研修会参加者の声	9
支部長会議・研修会報告、施設紹介	10
私の休日、研修会案内	11
編集後記	12

2024年度会員数
(R6.9)

4,453名



茨城県看護連盟会長あいさつ



茨城県看護連盟 会長 山本 かほる

祝 衆議院議員「あべ俊子文部科学大臣」ご就任おめでとうございます！
暦の上では、立秋が過ぎましたが、冷房が欠かせない日々が続いており会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしですか。

10月1日には、石破茂内閣が誕生し、閣僚メンバーに「あべ俊子文部科学大臣」が指名されご就任されましたことは、看護界にとって大変名誉なことであり改めてお祝いを申し上げます。

さて、9月20日には、石田まさひろ議員が来県され、県内6施設、約200名の会員と会い現場の声をしっかりと聴いてくださり対応してくださいました。当日は支部長が中心となり施設代表者はじめ事務の方々にも大変お世話になりました。7か所目は看護研修センターで支部長や会員が集合して意見交換会を行うなど石田議員へ直接質問や意見をする機会となりとても充実した1日となりました。

今月は、衆議院議員の解散総選挙や各級選挙がありますので大切な1票を行使しましょう。

日本看護連盟会長あいさつ



日本看護連盟 会長 高原 静子

茨城県看護連盟会員の皆様、日頃より日本看護連盟活動にご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。

コロナ禍における看護職の活動が看護職の存在の重要性を国民に認識される機会となり、看護職の処遇改善にも大きな流れが生まれました。これらの制度創設や改正は、日頃から看護に真摯に向き合い、要望、請願活動等の政治活動を継続してきた成果です。そして、看護職国会議員、日本看護連盟と看護協会、都道府県看護連盟と看護協会が連携して活動してきた成果でもあります。

日本看護連盟は、昭和34年の創設以来、看護職国会議員を国政の場に送り続け、様々な看護政策の実現に取り組んでまいりました。この度、2023年度日本看護連盟総会において、「石田まさひろ参議院議員」が次期参議院の組織内候補予定者に決定いたしました。看護職代表議員を高得票で国政の場へ送り出すことが政策実現に向けての近道です。「数は力」です。一人でも多くの看護職が良い看護をしたいという思いを実現するために、共に力を合わせましょう。

茨城県看護協会会長あいさつ



公益社団法人茨城県看護協会 会長 白川 洋子

山本会長をはじめ、連盟会員の皆様にはいつもお世話になっておりありがとうございます。また、この度の石破内閣においては阿部俊子衆議員が文部科学大臣として初入閣を果たされたこと、まことに嬉しく存じます。

さて、看護政策を進めるために政治の力は重要なことではありますが、その前提には看護の重要性を国民に知って頂く必要があります。労働環境や賃金は言うまでもなく、病気の人々がどんな看護を受けて、回復あるいは最期を迎えられたか等について、知って頂くことも重要なことではないでしょうか。先日、経済学者の暉峻淑子（てるおか いつこ）氏のことが新聞に掲載されておりました。暉峻氏は「学問は、日常の生活から生まれる」と述べられています。大半の病気は生活の営みから発生し、医療を必要とします。患者さんを観察し、背景を理解すると治療の助けとなります。従って看護学の芽も日常にあることに気づくことは、看護をより深化させていくことに繋がるのではないのでしょうか。

看護職議員活動報告



衆議院議員 あべ 俊子

この度、文部科学大臣を拝命いたしました。これも常日頃、みなさまからのご支援とご指導をいただいているお陰です。心から感謝申し上げます。国内外で様々な出来事が起きていることに心が痛む事も少なくありません。今までも「誰も取り残さない」教育を掲げ、医療的ケア児対応・不登校の課題・過疎地における学校存続問題・地域に残る人材育成などに取り組んできました。今まさに、人材育成は国の重要な方向性を定めるのは教育であると実感しています。超高齢化に加えて人口減少社会に向かうなかで、ケアの担い手の減少傾向や偏在も気がかりです。かつてないスピードで不確実性や複雑性を増す時代、みなさまの声を聴かせていただき、人材育成のための教育は国の基（もと）と信じて、日々努力してまいります。みなさまのご指導のもと、国政からできることを精一杯行ってまいります。



自民党看護問題対策議員連盟総会



衆議院議員 たかがい 恵美子

茨城県看護連盟の皆様には平素変わらず国民福祉の向上と後進育成にご尽力を賜り、心から敬意を表します。

今夏はゼロから政治活動を見直す意気込みで、政策アンケート2024を実施しました。看護問題以外にも、年金受給額を含む65歳以降の生活設計や終活に関する事、議員継続年数の制限や著しくアンバランスな性年齢構成の是正といった議会改革に関する事など、早急に取り組むべき政策課題を

たくさんご指摘いただきました。

政治は人々の安寧な暮らしを保つ公共財のような仕組みで、それ自体に収益性はありません。そのため議員はひとつひとつの政治成果をもって評価され、次第に信用の土台が築かれます。いずれの過程においても、根底には政治信条を共有する方々との交流や切磋琢磨があり、それらが活動の原動力となっています。

新総裁には政権与党の舵取り役として、変化の先を見据えた国家ビジョンを明確にお示しいただき、当方は一議員として、生命の最前線から発せられる声の数を十分に踏まえて、各々が自分らしく笑顔で暮らせる社会づくりに貢献して参ります。

まもなく豊穡の季節です。どうか皆様お健やかに、ご家族ご友人と睦まじく過ごされますよう願っております。



港灣協議会



参議院議員 石田 まさひろ

茨城県看護連盟の皆様、日頃より多大なるご支援を賜り誠にありがとうございます。

この夏、全国の医療・介護の現場を訪問し、多くの皆様からお話を伺っています。現場の皆様の声を伺うと、課題がコロナの前とは変化していることを実感します。例えば、働き方改革が進み、夜勤免除等の子育てしやすい環境が整備され、離職者が少なくなった一方で、夜勤職員が不足して病床縮小の検討を余儀なくされた病院等のお話を伺いました。また、看護記録の多さに対する業務負担や、診療報酬改定による病院経営への影響、多様化する

患者さんに対する病棟における様々な課題なども伺いました。国政の場では、リアルな看護の現場の声が必要です。また、取り組んで「成果があった!」という事例もぜひ教えてください。

引き続き、看護連盟・看護協会と連携しながら、寄せられたご意見など、国政の場に繋げて参ります。

茨城県看護連盟益々のご発展と、会員の皆様のご健勝を心より御祈念申し上げます。



研修会にて講師



参議院議員 とものう りお

茨城県看護連盟の皆さまこんにちは!

6月に国会が閉会し、現在は全国をまわり皆さまの声をうかがったり、国内外へ視察に行く毎日です。通常国会では予算委員会や厚生労働委員会などで数多くの質問の機会をいただき、夜勤看護職員確保対策、診療報酬改定に伴う賃上げの確実な実施、働き方改革の課題など、看護職を取り巻く課題について質問いたしました。また、こども子育て政策については、デジタルを活用して子育てがもっと簡単・便利なものになるように提言を作成し、大臣に提出しました。

7月にはセーブ・ザ・チルドレン・ジャパンとともに、エチオピアに行き、母子保健や地域保健サービスの視察を行いました。予防接種の接種率や感染症対策にまだ課題があり、国際的な支援が必要です。日本の知見を活かし、必要な支援を行っていきたいと思います。

引き続き看護や医療の課題解決に向けて取り組みます。どうか皆さまのご支援をよろしくお願いいたします。

施設訪問 ～ようこそ茨城へ～

9月20日（金）9:30～16:30

9月20日、参議院議員石田まさひろ先生が来県され、JAとりで総合医療センター、総合守谷第一病院、東京医科大学茨城医療センター、筑波記念病院、協和中央病院、結城病院を訪問いたしました。その後茨城県看護研修センターに於いて「石田まさひろ参議院議員を応援する会」意見交換会を開催しました。看護連盟会員のほかにも院長先生、副院長先生、事務部長・事務長、事務職員・コメディカルの方々等のご参加を頂き延べ200名の皆様とお会いすることができました。

意見交換では診療報酬改定の課題、入院基本料、看護必要度の問題点、看護職の地位向上、院内保育・学童保育・病児保育の課題、プラチナナース・潜在看護師の支援他県との賃金の違い、DXへの支援、訪問診療の同行看護師の役割、介護施設にける課題など現場からの多くの質問意見があり、石田先生は一つ一つにメモを取りながら丁寧に答えしておりました。また詳細をお答えするためお持ちこたえられた質問もありました。訪問された施設の方々からは「石田先生に直接お会いでき質問したことにお答えいただきパワーを頂きました」との多くの声がありました。



JA とりで総合医療センター



総合守谷第一病院



東京医科大学茨城医療センター



全ての看護職を支える！「石田まさひろ参議院議員」

筑波記念病院



協和中央病院



結城病院



「石田まさひろ参議院議員」応援する会 意見交換会

茨城県看護研修センター

9月20日（金）18:10～19:00





2024年度 日本看護連盟通常総会

日時：2024年6月13日(木) 13:00～15:00 場所：ザ・プリンスパークタワー東京
(16:20～17:20 都道府県看護連盟会長・副会長・幹事長支部長合同会議)



県南第一支部長 根本 幸代

2024年6月13日にザ・プリンスパークタワー東京で開催された2024年度日本看護連盟の通常総会で、高原静子会長は、コロナ禍における看護職の重要性が評価され、医療職の処遇改善が進んだことを強調しました。特に、2024年の診療報酬改定でのベースアップ評価料の新設は、看護協会と看護連盟の連携と政治活動の成果と述べました。今年度は4年ぶりに一般参加も可能となり、1000人を超える参加者が集まりました。総会には、複数の国会議員や高橋弘枝日本看護協会会長などの来賓も出席し、盛大に開催されました。

議事では、担当役員が昨年度の事業実施状況・決算や本年度の事業計画・予算について報告しました。本年度の事業計画には、第27回参議院議員選挙で組織内候補の知名度向上のため、応援する会の入会促進やコンプライアンス研修の実施が含まれています。また、昨年度より会員数が減少しており、今後の優先課題として会員確保が挙げられました。これに対し、「入会パンフレット」の作成、若手会員育成のための青年部支部化、インターネットを活用した情報発信強化が報告されました。

第27回参議院議員選挙の組織内候補者として、石田昌広議員の決起大会が行われました。石田議員は「政治の役割は環境整備である」と述べ、看護力の向上と質の高い環境改善を目指す意欲を表明しました。また、生涯教育の重要性を強調し、看護師が自信と誇りを持てる現場作りを目指すとして語りました。総会に参加し、看護政策実現のために国政に代表を送ることが、処遇や環境の改善に繋がると感じ、看護連盟活動の重要性を改めて実感しました。



2024年度 茨城県看護連盟通常総会

日時：2024年6月26日(水) 10:00～15:00 場所：ホテルレイクビュー水戸



第一副会長 芳賀 百合子

6月26日(水)にホテルレイクビュー水戸に於いて、2024年度「茨城県看護連盟通常総会」が開催されました。開会宣言後に物故会員への黙祷をささげました。看護職国会議員の阿部議員・高階議員・石田議員・友納議員4名のビデオメッセージが流れ会場は盛り上がりました。大井川知事、中島看護協会専務理事をはじめ衆議院議員、参議院議員、県会議員、市会議員、女性局、支援団体の皆さまのご臨席とご祝辞・祝電をいただきました。

その後、出席者106名、役員28名、委任状3818名、総数3952名により総会が成立しました。ひたちなか総合病院の三本松まゆみさんと古河赤十字病院の佐伯久美さんの議長団2名によって議事が進行され、報告事項7項目について承認をいただきました。続いて審議事項については、第1号議案2024年度スローガン「届けよう看護の声を! 私たちの未来へ」(案)、第2号議案2024年度活動計画(案)、第3号議案2024年度収支予算(案)、第4号議案役員選出、第5号議案2025年度日本看護連盟通常総会代議員選出について、すべて承認されました。議長解任後に改選役員14名(新任11名、再任3名)と退任役員9名の紹介と挨拶があり、退任役員の方へ花束が贈呈されました。日本看護連盟の歌を斉唱後に閉会となりました。

昼食後に、日本看護連盟顧問で元参議院議員・環境庁長官、第11代日本看護連盟会長を歴任された清水嘉与子先生による「看護の歴史を紐解き未来に向けて」の特別講演会が開催されました。清水先生の講演では、歴代の看護系国会議員と看護政策の変遷を伺い、看護政策実現のために看護系国会議員の継続選出の重要性を再認識させていただきました。これからも看護職の道標としてご健在でいただきたいと思ひます。

明るい看護の未来を描き、人々の健康と生活の向上のために、看護の声を政策につなぐ看護連盟活動に向けて皆さまのご指導とご協力を賜りますようお願いいたします。



第1回青年部ブロックミーティング



青年部委員長 武子 裕介

2024年6月12日(水)に2024年度第1回青年部ブロックミーティングを衆議院会館で行いました。今回は、次期参議院議員選挙について青年部担当幹事岡山さんから、資料を用いて選挙までのスケジュールやコンプライアンス等について説明がありました。特に今回は後援会入会目標数を80万人→40万人に引き下げはしますが、必ず投票に行くといった政策の変化がありました。

GWでは、5つのテーマに対して各テーマ3Gずつに分かれて話し合い、最後に発表しました。全G発表後には参議院議員の石田昌宏議員が講評を行い、実現可能な政策や困難な政策等回答を頂きました。

今回の青年部ブロックミーティングで情報共有した事を茨城県青年部でも共有し、今後の活動に活かしていきたいと思ひました。

2024年度 スローガン「届けよう看護の声を!私たちの未来へ」



特別講演

13:30~15:00

演題:「看護の歴史を紐解き未来に向けて」

講師:清水 嘉与子 先生 (日本看護連盟 顧問 元参議院議員・環境庁長官 第11代の本看護連盟会長)



筑波記念病院 宮澤 久美子

6月26日にレイクビュー水戸で開催された茨城県看護連盟通常総会に参加させていただきました。特別講演では日本看護連盟顧問をお務めでいらっしゃる清水嘉与子先生から貴重なお話を伺いました。先生が看護の歴史を生き生きと語られる中で、私も自分が働くようになってからの出来事を思い返しました。特に看護師になって間もない90年代後半からの医療安全の変遷や、2000年代初めの「婦・士」から「師」への名称変更などが思い起こされ、そこに多くの方々のご活躍があったことに感銘を受けました。日本看護連盟のスローガンにあるよう、諸先輩方が看護の声を未来につないでくださったおかげで今があることに、感謝を申し上げたいと思います。

監事 猪瀬 留美子



看護連盟の監事として務めさせて頂きました。活動を通して連盟の重要性を理解できました。看護連盟は看護の未来を担う重要な基幹です。これからも会員として現場の声が国政に届くように支援して参ります。今まで、沢山の方にご指導、ご協力を頂き楽しく活動することが出来た事に感謝申し上げます。

県南第2支部長 間宮 光子



県南第2支部長として、2年間活動してまいりました。役員の皆様や支部会員の皆様、そして職場の仲間のご協力によりなんとか務めさせて頂きました。病院の業務では経験の出来ない貴重な体験をさせて頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。これからも一会員として看護連盟の活動を応援させて頂きたいと思います。

鹿嶋第1支部長 岩間 由紀子



山本会長をはじめ皆様方には大変お世話になりました。ありがとうございました。「届けよう看護の声を」という連盟活動から「政治に看護の代表を」という熱い思いを知りました。退任はしますが、これからも応援して行きます。

水戸第4支部長 尾崎 美智子



水戸第4支部長として今期を持ちまして退任を迎えることになりました。協会からの要望、看護師の地位向上など政策要望書を政府に提出した物が政策決定されるために、看護連盟は協会より少ない会員数で、看護の代表を一人でも多く国政、地方議会に代表を送り出すため、高野顧問、山本会長をはじめ執行部役員の方々、各支部長と茨城県看護連盟の旗を掲げて東西南北活動してきました。良い看護をするために政治力がいかに大切なのか学ぶと共にこの活動を通して素晴らしい仲間に出会えたことは私の大切な宝物となりました。支部会員に支えられ活動出来た事、この場をかり感謝申し上げます。これからは、一会員として茨城県看護連盟の益々の発展とご活躍を応援して行きたいと思ひます。お世話になりました。

退任役員

～ありがとうございました～

鹿嶋第二支部 今野 恵



茨城県看護連盟支部長を退任するにあたり、皆様のご支援に心より感謝申し上げます。在任中、連盟と政治の深い関わりを学び、看護職が社会に与える影響の大きさを改めて感じました。看護の現場から政治への橋渡し役として尽力できたことは、貴重な経験でした。今後も、この経験を活かし、看護の発展と社会貢献に努めて参ります。どうぞ引き続きご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

古河支部長 金田 まり子



2024年6月26日の茨城県看護連盟通常総会を持ちまして、古河支部長を退任いたしました。古河支部長として9年間務める事ができましたのは、茨城県看護連盟の会長をはじめ役員の方々や各支部長様、そして古河支部の各施設の皆様方にご指導ご協力を頂いたお陰です。心より感謝申し上げます。この9年間、看護の力を国政にと皆様と共に私自身は微力ではありましたが活動して参りました。看護の現場を良くするためには、私達看護職が動かなければいけないことも知りました。看護職の1人1人の力が結集すれば、強い力となり、国政に看護の代表を送る事もできることも経験しました。看護の代表の先生方が看護職の地位向上のためにご尽力されている事を皆さんに知って頂き、今後益々看護連盟活動が盛り上がっていくことを祈念致します。

第二副会長 池田 康幸



この度、茨城県看護連盟第2副会長に就任しました池田康幸です。重要な役割を任せいただいたことに深く感謝申し上げます。今後も、働きやすい環境づくりや、若手看護師の育成に力を入れていきたいと考えております。よろしくお願い致します。

幹事 須藤 礼子



この度茨城県看護連盟幹事を拝命いたしました。ひとり一人が活躍でき、やりがいのある職場を目指すために看護問題など皆様の声を聴き、看護職の代表へ現場の声を届けることが役割と思っています。どうぞよろしくお願い致します。

監事 秋葉 はつひ



2024年度の茨城県看護連盟総会において御承認いただき、監事として看護連盟活動に尽力させていただきます秋葉です。物価高騰と会員減少の課題がありますが、会員の皆様方にご協力いただきながら役割を果たしていきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

水戸第2支部長 奥川 洋子



令和6年度、水戸第2支部長を拝命いたしました。看護師の専門職としての待遇や利益を保持・改善するため、今現場で起きている問題を政策につなげられるよう全力で取り組んでまいります。よろしくお願いいたします。

新任役員

～よろしくお願いいたします～

鹿島第1支部長 中島 道子



近年、医療現場の現状と要望が届けられ、看護師の処遇改善を受けることができました。現場の声を届け政治を動かしていくには、看護師の代表を国政に送ることが重要になります。看護専門職として役割を発揮できるための職場環境が整えられるよう、連盟会員と共に活発な活動ができるように努めていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。

水戸第4支部長 堀江 由樹子



この度、水戸第4支部長を拝命いたしました。これまで前支部長のご活動を側で拝見しつつも、今年度から自分が担うべき役割とその責任の大きさに戸惑っております。まずは、連盟活動が我々の処遇・働く環境改善に大きな力を持つことを、第4支部に浸透出来る様活動して参りたいと思ひます。是非ともご支援の程、よろしくお願いいたします。

県南第2支部長 木村 千代



このたび県南第2支部長を努めさせて頂くことになりました。看護職処遇改善のため、皆様の声を国政に届けられるよう微力ながら頑張っていきたいと思ひますので、よろしくお願い致します。

鹿島第2支部長 折笠 秀実



白十字総合病院単独支部170名の会員と共に、看護職の更なる社会的地位向上に向けて、国政に看護の代表を送るための活動を積極的に行っていきます。また連盟活動を通して、効果的な情報交換なども行っていきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

県北第2支部長 菅澤 裕子



この度、県北第2支部長を拝命いたしました菅澤です。今までの連盟活動を引き継ぎ、「看護の力を信じ日本を元気にする」ため、できることを精一杯努めていく所存であります。どうぞよろしくお願いいたします。

県南第4支部長 縮 夏美



この度、県南第4支部長に就任しました。看護職が安心して働くことができる職場環境を目指し、「現場の声」を届けるために他施設と情報共有を図り、看護連盟活動に従事していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。

古河支部長 飯塚 真弓



この度、古河地区支部長に就任いたしました。地区のみなさまと連携を強化し、それぞれの課題を共有しより良い看護の実現に向け職責を果たして行きたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。



2024年度 研修会参加者の声

日時：2024年5月21日(火) 17:00～19:00 オンライン

演題：「感染対策のこれから」～新型コロナウイルス感染対策のあゆみと今後の感染対策～

講師：板橋中央総合病院 院長補佐・質改善・安全(QIMS) センター副センター長 坂本 史衣 先生



三岳荘小松崎病院 川澄 春美

新型コロナウイルス感染症が5類になり1年が経過しようとしているが、新型コロナウイルス感染症はゼロにはならず、感染力も強く命を落とす方も多い状況での医療者の対応として、標準予防策は大切だと今回の研修で改めて学びました。

特に印象に残ったのは手袋装着についてです。手袋を装着した状態での手指消毒は手袋に多数のピンホールが生じる事や、手指消毒をしても付着した微生物を十分に除去できない事を知り、「手袋」=「安全」ではないことを再確認できました。

手指衛生、手指消毒、個人防護具を適切なタイミングで実施することで、自分と相手の双方を守り、感染リスク拡大を防げると理解しました。

自分のこれまでの業務を振り返り、学んだことを今後に生かしていきたいです。

2024年度茨城県看護協会・看護連盟合同研修会

日時：2024年7月12日(金) 18:00～ ハイブリット

場所：看護研修センター大研修室

演題：「茨城県の医療体制の現状と課題」～第8次茨城県保健医療計画について～

講師：茨城県保健医療部長 森川 博司 先生



(株)日立製作所 ひたちなか総合病院 後藤 尋子

森川先生の講演を聴講し、茨城県における医療体制の現状と課題について考える機会となりました。特に医師の働き方改革をふまえた医療従事者の確保や新興感染症への対応、医療安全の確保について印象に残りました。医療従事者の確保については、医師の少ない茨城県ならではの課題が多く、医師以外の医療従事者の協力も必要不可欠となります。当院でもタスクシフト・シェアについて更なる推進をしていく必要があると感じました。また、感染拡大時の対応については、県内の医療機関との連携や情報共有の重要性を改めて感じました。そのうえで、感染防具の正しい装着方法や手指消毒など基本的な感染予防など今後も実践していきたいと思います。また、医療安全の確保については、自身でも医療安全の講習を受け、意識を高めていきたいです。学びの多い、有意義な時間となりました。ありがとうございました。

日時：2024年7月20日(土) 13:30～16:00

場所：茨城県トラック協会

演題：「対話型コミュニケーションのポイント」～結びつきを深める関係性作り～

講師：キャリアコンサルタント・産業カウンセラー 須藤 明彦 先生



ホスピタル坂東 金子 明美

多様な人材が互いに尊重しあい、自分らしく能力を発揮できる職場をすることが大切である。自分らしさを発揮してチームのために貢献できていることに納得していると今いる職場・チームを自分の居場所と感ずることができる。そういった職場環境を作るためには議論ではなく対話が大切であること、対話と議論の違いについて学んだ。また、心理的安全性が保たれているということは、チーム内で率直な意見が言い合える環境である。無知への不安・無能への不安・邪魔への不安・否定への不安という4つの不安が対話にブレーキをかけてしまいチーム内で率直な意見が言い合えなくなってしまう。自分自身のコミュニケーションスキルを高めていくとともに、対話をし心理的安全性の高いチーム作りをしていきたい。





2024年度 第1回支部長会議・研修会報告

日時：2024年7月25日(木) 13:30～16:00

場所：茨城県青少年会館

演題：「応援する会活動について」

講師：日本看護連盟 幹事 岡山 堯憲 氏



結城支部長 渡邊 ユリエ

7月の第1回支部長会議の中で、日本看護連盟幹事の岡山堯憲先生による、応援する会活動についての研修会が実施されました。内容としては、①次期参院選を知る②選挙の仕組みと後援会の方針③コンプライアンス対策④看護連盟役員・支部役員の活動についてわかりやすく説明して頂きました。

次期参議院議員選挙の組織内候補予定者として石田まさひろ氏が決定し、2期務めた中での今までの石田氏の実績も詳しく説明して頂け、「看護の代表は、看護の力で送り出す」必要性を理解することができました。また、コンプライアンス対策として、公示前後で言うて良いこと、言うてはいけないことについて細かく教えて頂き、自分の中で曖昧だった知識をはっきりさせることができました。

現状・将来の看護問題解決に向けて、看護の政治力を高めるために、今できることは何なのかを一人一人が考え行動に移すことが出来るよう、支部長として活動をしていきたいと思います。

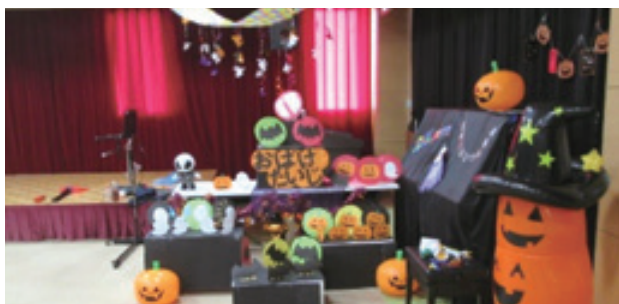
施設紹介

愛正会記念茨城福祉医療センター



療育部長 武井 千恵子

2014年に茨城県立こども福祉医療センターの後継として設立され10周年を迎えました。茨城町東ICに近い環境に位置し県内外からご利用されています。重症心身障害児(者)の医療型障害児入所施設、療養介護事業、児童発達支援事業を行い、外来診療は小児科・小児神経科、精神科、小児外科・外科、整形外科、歯科、リハビリテーション科があります。3つのユニットに幼児期から老年期まで129床稼働しています。入所者ほぼ全員が全介助を要し約4割が気管切開をしています。そのうち6割が人工呼吸器を装着して生活されています。看護師、生活支援員、看護助手で構成されたユニットでは、医療と看護の他、生活支援員と協働し、個々に合わせたレクリエーションや生活援助を行い、リハビリテーション部と協力して日々の訓練も行っています。児童憲章を重んじて、家族に寄り添い、入所者を尊重して穏やかに生活していくための関わりを持ちながら、療育を行っています。



鹿嶋訪問看護ステーション



管理者 坂本 祥子

当ステーションは開設28年を迎えました。現在は看護師11名(1名産休中)、ケアマネージャー3名、事務1名の計15名で活動しています。年齢は20代から60代まで幅広い年齢層の看護師が在籍しています。

コロナ禍を機に訪問看護のニーズは大きく変わりました。最期までご自宅で過ごすことを望まれるご利用者が増え、ニーズに応えるべく在宅ターミナルケアへの対応を強化しています。いちばん身近な医療と福祉の専門職としてご利用者・ご家族の気持ちに寄り添い、「住み慣れた家で自分らしく生きること」を支援することを理念に掲げ、24時間365日対応しています。

最近では地域全体で多職種連携がスムーズになり身体面、生活面の困りごとにもスピーディーに対応できるようになり在宅ターミナルケアチームとして士気の高まりを実感しています。

今後も地域の皆様から選ばれるステーションを目指し在宅医療の発展に貢献していく所存です。

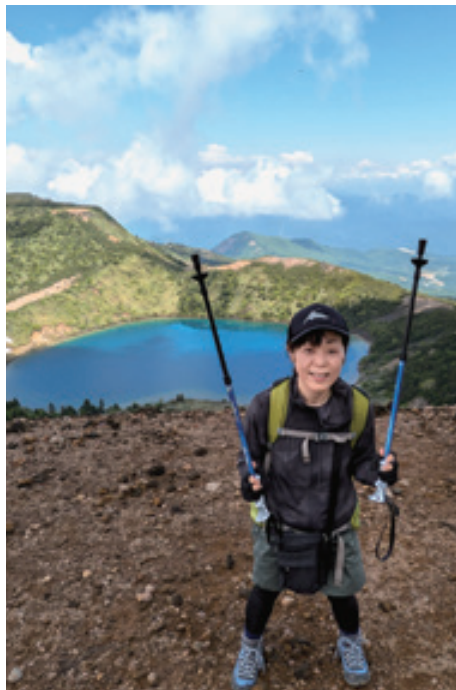


わたしの休日

筑波学園病院

産科病棟師長 飯田 ひろ美

3年前、30 kgという人生最大の減量を行いました。コロナ禍にかなり増加してしまった体重。それに伴い不健康になっていく自分を何とかしようと考え、パーソナルジムに通い始めました。それ以来、休日は筋トレを行うことで体や心のリフレッシュが図れるようになりました。体の健康はもちろんですが、食事の大切さ、心の持ち方などを知ることができ、



心身を鍛えることを楽しんでいます。これまでは休日はごろごろしていることが多かったのですが、今では、登山やお城巡りなどアクティブに体を動かす機会も多くなりました。これからも健康のためにトレーニングを続け、プライベートはもちろん、いつまでも助産師としての役割果たせるよう頑張りたいです。

牛久愛和総合病院

看護師長 稲葉 浩行



私は、自然が好きで、休日には登山や川などにデイキャンプに出掛けることが多いです。最近では、近場の筑波山や宝篋山などで低山登山をしています。軽装備で気軽に行くことができ、体力維持のため無理せず継続して登ることが出来ます。特に、

おすすめは宝篋山の極楽寺コースです。沢沿いの小道を歩くと沢のせせらぎや鳥のさえずりが聞こえ、全身に木々の木洩れ日を浴びながら登っていくので、とても気持ちがいいです。山頂に着くと360度のパノラマで景色が広がっていて、それを眺めながら飲む珈琲は格別なものです。汗をかいた後は日帰り温泉で疲れを癒し、里山の手打蕎麦を食べて帰ります。自然を満喫できる「最高の休日です。」



研修会案内

会員研修会

日 時：2024年11月23日（土） 13：30～16：00
場 所：茨城県トラック協会
演 題：「医療現場におけるハラスメントへの対応」
講 師：参議院議員 友納 理緒 先生



国会見学

日 時：2024年11月13日（木）



看護管理研修会②

日 時：2024年12月7日（土） 13：30～16：00
場 所：茨城県トラック協会
演 題：「持続可能なキャリアを考える」～この先の看護職の可能性～
講 師：東京医療保健大学 副学長 坂本 すが 先生



2024年度 茨城県看護連盟会員 入会受付中

みんな集まれ！楽しいよ！！

日本看護連盟公認キャラクター



正会員 年会費 7,000 円（日本看護連盟会費 5,000 円・茨城県看護連盟会費 2,000 円）
・看護協会会員であること。

特別会員 年会費 7,000 円（日本看護連盟会費 5,000 円・茨城県看護連盟会費 2,000 円）
・正会員の経歴を有し、未就業で現在看護協会に入会していない方。

賛助会員 年会費 1,000 円
・看護連盟の趣旨に賛同して頂ける方であれば、どなたでも入会できます。

学生会員 年会費 無料
・看護学生で、看護連盟の趣旨に賛同して頂ける方。

皆さまのご入会を
お待ちしております。

お問合せ 茨城県看護連盟ホームページもご覧下さい。 <https://ibaraki-kangorenmei.jp/>

〒310-0034 茨城県水戸市緑町3-5-35 TEL: 029-225-3992 FAX: 029-232-8648 E-mail: info@ibaraki-kangorenmei.jp

茨城県看護連盟 ホームページ紹介

随時
更新中!

<https://ibaraki-kangorenmei.jp/>



LINE 登録してね



看護師の“知りたい”
をつなぐ看護職議員の
活躍がよく分かりますよ！

日本看護連盟

不要な羽毛ふとんはありませんか？ 東洋羽毛が無料でお引取りします。

東洋羽毛は、不要羽毛ふとんの引取りを通じて、
SDGs (持続可能な開発目標) の活動に取り組んでいます。



引取り詳細▶

- お近くの営業所または二次元コードからお申込みください。
- 引取り可能なふとんの種類は「羽毛ふとん」です。掛けふとん・敷きふとん・まくら等の羽毛製品のみです。
- リサイクル羽毛として活用できないものや羽毛ふとん以外には引取りできません。
- 東洋羽毛以外の羽毛ふとんも引取り可能です。

TUK Link Project



東洋羽毛北関東販売株式会社
310-0842 茨城県水戸市けやき台2-19-2

茨城営業所



0120-46-1590

編集後記

広報委員会では、年3回の機関紙「看護連盟いばらき」を発刊しており、今年度2回目の発刊となります。この機関紙発刊は、会員の方々への情報伝達・教育啓蒙活動、およびコミュニケーションを目指しています。今後も会員のみなさまにお役に立てる「看護連盟いばらき」の発刊に努めてまいります。

(広報委員)